

時軍新報

海軍將校の技倆如何

我輩は海軍の將校をして學術に精通し實地に熟練せしむるの必要を説き我將校の力量にして先進海軍國の將校と匹敵するに非ざれば假令多數の堅牢なる軍艦あるも一旦有事の場合に至りて實用を爲さざる可し

Table with columns for ranks (大尉, 中尉, 少尉) and names (e.g., 日相澤, 英リチャード), listing their names and corresponding dates or events.

彼國將校の進級は概して邊級にして且一階級に留まるの年限も永く加ふるに遠洋航海外國派遣等、海上に勤務するも多きが故に實地の練習に充分の機會を得る

右の對照表に據るときは我國の將官佐官は生徒、少尉補等の如き下級の順序を經歷して昇進したるもの甚だ稀なるを見る可し蓋し海軍草創の際に當り舊藩の海軍に従事したるもの若しくは維新の戦等に從ひたる

抑も我輩が右の對照表を記すの勢を取りたる所以のものは一つには前述の如く當局者の參考に供し一つには一般公衆の注意を促さんとするの微意に外ならず元來我國人は未だ海軍の事に慣れずして其事情を詳にするもの少なきが故に軍に多數の軍艦を有し備ふれば海國の防禦は安心なりと思ふものなきに非ざる可しと雖

地に精通熟達して巨大の艦艇を縱横無礙に運轉し得る老練の強敵なるものと忘る可らず若し一旦斯くの如き強敵に對するも我輩は我將校の力量にして彼に匹敵せざる

裁判今後の成行に關する注意 千嶋事件に付き被告ヒートン會社より提起したる反訴は横濱裁判所に於て一旦棄却せられたるにも拘はらず上海の英國高等法院は原裁判を破棄して更に覆審すべしとの判決を與へたるに就ては日本政府は無論英國樞密院に上告して其權利の伸張を計るべきなるべく從て此裁判は如何に成行すべきか今日に於ては未だ知る可らずと雖も若し不幸にして再び敗を取らんか本訴の方にも幾分の影響を及ぼすことなれども限られず蓋し上海高等法院の與へたる判決は被告ヒートン會社より提起したる反訴を英の裁判所即ち本訴を受理したる裁判所に於て受理すべきものと判決したる迄なれば假令ひ英の終審裁判に於て日本政府の敗に歸するも之を以て直に被告の要求せる十萬圓の賠償を爲すに及ばざるは勿論の事にして是れは又別に裁判を開き被告の要求果して當を得たる者なるか其れども又不當なるかを決するに在り故に反訴の受否に關する判決は茲に到る迄の進行にして反訴者に對する勝敗の決は次で來る所の問題なれば深く心配するに及ばざるが如くなれども既に第一の關門を破られ敗を本丸に引受けたりとすれば勝敗の數は兎も角も其戦は一層の困難を加へたる者に一舉一動忽にすべからず斯くて又不幸にして十萬圓は投置き一文たりとも賠償の責に任せざるを得ざるが如き裁判の成行とも爲らんか其れども勇々しき大事にして我政府より八十餘萬圓を要求したる本訴の成行にも關すべし何となれば此反訴に敗を取り苟にも賠償の責に任するも爲らんか千嶋とラヴェンナとの衝突は我にも幾分の過失あるものと爲ればなり既に我に幾分の過失ありと決せんかヒートン會社に向ては本訴迄も併せて敗を取るものと莫しとせしめんとて愛に到るときは反訴の成行は最も關心すべき事にして要するに敗を本丸に引受くるの不可なるを知らば第一關門の破れも亦嚴重にせざる可らず故に此上蓋の樞密院に向て上告する場合には訴訟上の誘引更に一層の注意を要すべきものと云ふ

雑報

新教育會と今の文部大臣 世間の噂に依れば井上文部大臣に續放深き教育者が新に教育會を組織せんとして既に委員を撰んで會期を起事したりと云ふるより抑は御味方教育會を起すにあらざるやと思はれるものあれども聞く處に依れば此の新教育會の設立は教育談話會を擴張せんとするものに過ぎず而して此の擴張談話會をのこして此の談話會員僅に八九人特立の小集會を爲すの内情に深く感服教育會を敵とする爲めにもあらざるも唯會員を二三にせしむるものなれば事柄を思ひの漸く高まりた大臣の信任深きれより一週間をて嘉納氏は斯く省内に起居たの訓令は國家教育の訓令にしてたるものにして果して然らばにや疑國益す深坂上の富士見軒中十六名なりしければ暫く發表しと説くものさすべしと決し直いふ事情既に斯にあらざるに兩合を差控えて其なれば來る十四時都府府もなすも知るべかみとあるも語りければ仰山に吹す文部の當局者判明する時は會いふ

紡績業者の苦境 業聯合會と郵船業者と郵船會社を促すは勿論國會議員は去る七時三十分大坂社に打揃ひ同入保山沖に被拍の小旗を以て滿洲國旗を掲げると云ふ